

▶ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会基準日 3月31日

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

▶ 平成21年1月5日の株券電子化に伴う株式事務の変更

- ◎株券を証券会社を通して株式会社証券保管振替機構（ほふり）へ預けている場合住所変更等の届出等の郵便物の送付先およびお問合せ先は、お取引の証券会社になります。
- ◎株券をお持ちの場合、不所持にされている場合等、株券をほふりに預けていない場合次のとおりです。

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324（変更ありません）	

▶ ホームページのご紹介

当社は、会社の内容、決算の情報、ニュースリリースおよび公告など各種情報を掲載しております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.mamiya-op.co.jp/>

Mamiya-OP Co.,Ltd. マミヤ・オーピー株式会社
埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号



第**67**期 中間報告書

2008.4.1 ▶ 2008.9.30

Interim Report 2008

Mamiya-OP

マミヤ・オーピー株式会社

▶ 経営理念

「ものづくりを通し、信頼性の高い技術と品質をお客様に提供し、豊かな未来を拓いていく」

▶ 経営方針

- 1 利益ある成長 ————— 企業活動の源泉である健全なる利益を追求した経営を実行します。
- 2 徹底したお客様志向による信頼性の確保 ———— お客様の目線で「ものづくり」を行い、お客様の満足と信頼を得られる経営を実行します。
- 3 独自分野に果敢に挑戦する開拓精神 ————— 失敗を恐れずに、時代を一歩リードする独自分野に挑戦する経営を実行します。
- 4 法令等を遵守し、公正かつ良識ある企業活動 ———— すべての役職員が法令等を遵守し、公正誠実な企業活動をとることにより、お客様や社会から信頼され共感を得られる経営を実行します。

▶ 行動指針：MI-5 (エムアイファイブ) Mission Improve

5つの使命を掲げ、常に進歩 (Improvement) を続け社会に貢献する企業を目指してまいります。



- 1 Mannerism (マンネリズム) の排除 = 前例主義、現状維持は後退を意味します。常に問題意識を持ち、型にはまった手法を排除し、自由な発想で仕事に取り組みます。
- 2 Motivation (モチベーション) の向上 = 意欲なくして進歩はありません。常に高い向上心を持ち、積極的に会社構築に参画します。
- 3 Moral (モラル) の維持 = 自由を尊重しつつ、組織人・一般社会人に求められる社会規範を守り、秩序ある行動をとります。
- 4 Market (マーケット) 志向 = お客様目線の発想を徹底し、世の中の動きに敏感に反応する行動をとります。
- 5 Make a profit (プロフィット) = 健全なる利益を追求し、結果の出せる行動をとります。

真の改革に取り組むべく、全社員が一丸となり邁進します。



株主の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より当社事業に格別のご理解とご支援を賜りまして、第67期中間報告書をお届けするにあたり、心から御礼申し上げます。

さて、当中間期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する金融不安、原油価格の高止まりおよび米国の景気後退などによる外需の落ち込み、更には円高・株安による消費マインドの低下などにより、企業を取り巻く環境も厳しい状況になりました。こうした経済環境の下、電子機器事業の主力部門のパチンコ業界におきましても厳しい状況が続く中、当社は三洋電機株式会社から搬送システム事業を買収して、新たな事業展開を図りました。また、スポーツ事業部門のゴルフシャフトにおきましても、米国でのOEM (相手先ブランドによる生産) シャフトの新規獲得に努めました。その結果、売上高、利益ともに所期の目標を達成いたしました。

今後は、当社が取り組んでおります「ものづくりを通し、信頼性の高い技術と品質をお客様に提供し、豊かな未来を拓いていく」を経営理念として、それを実現するための4つの経営方針とそれを達成するための5つの使命を掲げて、常に進歩を続け、社会に貢献する企業を目指してまいります。

このような認識のもと、平成21年3月期よりの金融商品取引法に拠る内部統制報告制度の導入に対応するために、コーポレート・ガバナンス体制の再構築を進めております。時代のニーズをしっかりと受け止め、一歩、一歩前進していきたいと思っておりますので、株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

マミヤ・オーピー株式会社

代表取締役社長 滝沢三規

▶ 電子機器事業部門

社会に大きく貢献するエレクトロニクス技術

私たちは、急速な技術革新への対応が求められる今日の市場環境において、確かな技術と、皆様からのニーズをマッチングさせた信頼できる製品をご提供することを、第一に考えております。そして、旺盛な意欲を持って積極的に日々製品化に取り組み、無人化、省力化、デジタル識別技術、セキュリティ分野、アミューズメント分野などの製品で社会に大きく貢献してまいります。



カードユニット(メダル貸機・台間玉貸機)



Operal 高性能小型券売機



マルチチャンネル型 薄膜測定器

▶ スポーツ事業部門

世界のトッププロが認めたPROFORCEシャフト革命



AXIV-X



PROFORCE V2

私たちは、ゴルファーの変わらぬ夢である「より遠くへ、より正確に飛ばすこと」を実現するために、数々のハイテクを駆使したシャフトを世の中に送り出してきました。そして、4軸織物による「AXIV」シリーズの最新作として、AXIV史上最大の飛距離を実現し、大型ヘッド時代に伴う大きな慣性モーメントに対応した「AXIV-X」を発売いたしました。また、デービス・ラブ皿およびロッド・パンプリングの2名とシャフト使用契約を結んだUSTとの連携を強化し「PROFORCE V2」をはじめとするプロフォースブランドの更なる拡販にも努めてまいります。私たちはシャフトを通じて今後ともゴルファーの夢を実現するために進化し続けてまいります。



ユナイテッドスポーツテクノロジーズ・LP.



マミヤ・オービー(バングラデシュ)Ltd.

▶ スポーツ事業部門

当事業部門は、国内市場においては、「AXIV」シリーズ及びOEMシャフトの新規顧客獲得に努めましたが、市況低迷の影響を受け売上高が低迷し、海外市場においても「PROFORCE V2」シリーズ及びOEMシャフトの受注拡大に取り組みましたが、受注競争及び値引要求の激化等のため、売上高、営業利益共に伸び悩み、売上高は14億98百万円(前年同期比20.3%減)、営業利益は1億21百万円(前年同期比61.8%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰による物価の上昇や米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の影響を受け、設備投資の伸び悩み、個人消費の鈍化など、景況は全体として停滞・減速の状況で推移しました。

こうした経済環境に加え、当社グループは、パチンコ業界を巡る厳しい環境の下で主力事業である電子機器事業の売上が縮小する中、搬送システム事業を買収する等の積極的な施策を実施し、持続的成長への基盤作りにも努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の連結累計期間の連結業績は、売上高58億48百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益1億円(前年同期比85.6%減)、経常利益39百万円(前年同期比93.9%減)となりました。また、特別損益として、貸倒引当金戻入額36百万円等があったため四半期純利益は37百万円(前年同期比95.5%減)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

▶ 電子機器事業部門

当事業部門は、パチンコ関連業界の事業環境悪化に対応すべく、三洋電機株式会社より買収した搬送システム事業の円滑な引継ぎに万全を期するとともに、営業力の強化及び開発機能と生産機能の一体的運営による効率化を図るべく様々な施策を講じ業績の維持向上に努めてまいりましたが、搬送システム事業の引継ぎにかかる経費負担等のため利益水準が下落することとなりました。この結果、売上高は43億50百万円(前年同期比2.0%減)、営業損失は20百万円(前年同期は3億75百万円の営業利益)となりました。

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(ご参考) 単位: 百万円

科 目	当第2四半期 平成20年9月30日現在	前第2四半期 平成19年9月30日現在	前期末 平成20年3月31日現在
● 資産の部			
流動資産	8,950	9,764	8,904
固定資産	1,163	1,093	1,035
有形固定資産	518	683	625
無形固定資産	206	11	7
投資その他の資産	437	398	402
資産合計	10,113	10,857	9,939
● 負債の部			
流動負債	3,056	3,611	2,769
固定負債	1,553	1,835	1,545
負債合計	4,610	5,447	4,315
● 純資産の部			
株主資本	5,285	4,967	5,248
資本金	3,958	3,958	3,958
利益剰余金	1,356	1,037	1,319
自己株式	△ 30	△ 28	△ 29
評価・換算差額等	218	442	374
純資産合計	5,503	5,409	5,623
負債、純資産合計	10,113	10,857	9,939

四半期連結損益計算書 (要旨)

(ご参考) 単位: 百万円

科 目	当第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前期末 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	5,848	6,317	12,304
売上総利益	1,556	1,869	3,459
営業利益	100	693	1,179
経常利益	39	648	991
税金等調整前四半期(当期)純利益	76	913	1,251
四半期(当期)純利益	37	819	1,101

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(ご参考) 単位: 百万円

科 目	当第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前期末 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 255	△ 14	747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 999	610	524
財務活動によるキャッシュ・フロー	42	△ 410	△ 674
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	4	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,219	189	590
現金及び現金同等物の期首残高	4,517	3,926	3,926
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,297	4,116	4,517

● 当冊子の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。

■収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。

■当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として併記しています。その際、前年同期(中間期)については「前第2四半期」と記述しています。

株式情報

平成20年9月30日現在

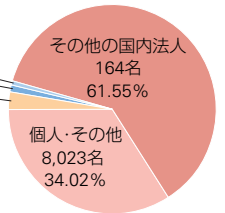
株式の状況 発行可能株式総数150,000,000株
発行済株式の総数93,481,700株
株主総数8,241名

大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社データ・アート	54,545,000	58.35
みずほ信託銀行株式会社	885,000	0.95
東京海上日動火災保険株式会社	846,204	0.91
原 幸 一 郎	774,220	0.83
エヌティシー	701,000	0.75
株式会社東京都民銀行	390,000	0.42
王 厚 龍	340,000	0.36
日本証券金融株式会社	325,000	0.35
安藤証券株式会社	300,000	0.32
シービーエヌワイエフエイ インベスト トラスト カンパニー ジャパン スモールカンパニーシリーズ (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	263,338	0.28

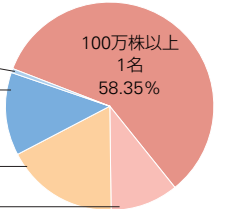
所有者別分布状況

外国法人等	18名	0.64%
証券会社	26名	1.08%
金融機関	10名	2.71%



所有株式数別分布状況

1千株未満	2,156名	0.63%
1万株未満	5,271名	12.91%
10万株未満	772名	17.55%
100万株未満	41名	10.56%



会社概要

平成20年9月30日現在

商号 マミヤ・オーピー株式会社
本店所在地 埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号
設立 1948(昭和23)年2月
資本金 39億58百万円
従業員 117名
役員
代表取締役社長 滝沢 三規 取締役 峰島 重雄
常務取締役 山本 和孝 取締役 磯部 圭一
取締役 鈴木 登 常勤監査役 志田 太利夫
取締役 菅原 正巳 監査役 関口 正夫
取締役 鈴木 聡 監査役 足立 正喜

グループ会社

ユナイテッドスポーツテクノロジーズ・ホールディングInc.
(米国・デラウェア州)
ユナイテッドスポーツテクノロジーズ・LP.(米国・テキサス州)
マミヤ・オーピー(バングラデシュ)Ltd.(バングラデシュ・チッタゴン市)
マミヤ・オーピー・ネクス株式会社(埼玉県さいたま市)

事業所および事業内容

本 社
〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号
Tel 048-710-4800 Fax 048-710-4831
・本社(社長室、管理部、監査室)
・営業本部(営業部)
・技術生産本部(開発部)
パチンコ台間玉貸機の開発・販売
東京営業本部
〒141-0022 東京都品川区東五反田一丁目9番4号 五反田宏陽ビル
Tel 03-3443-1310 Fax 03-3443-1311
・営業本部(事業開発室、特機営業部)
パチンコ台間玉貸機、搬送システム、小型券売機等の企画・販売
岩槻事業所
〒337-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町二丁目6番21号
Tel 048-680-5201 Fax 048-680-5203
・技術生産本部(生産部、品質保証部)
パチンコ台間玉貸機、搬送システム、小型券売機等の製造
三浦事業所
〒336-0906 埼玉県さいたま市緑区三浦6770番地
Tel 048-680-5351 Fax 048-810-2251
・技術生産本部(搬送システム部)
搬送システムの企画・販売
戸田事業所
〒335-0031 埼玉県戸田市美女木三丁目5番1号
Tel 048-449-6699 Fax 048-449-6711
・ゴルフシャフト、ゴルフ関連用品および遮断桿の開発・販売